

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
134032103	道徳教育の理論と実践 Theory of moral education	前田 治			2	選択	3後期

科目の概要

ライフスタイル学科のDP①と目標「日常生活を支援することのできる人材育成」を受け小中学校・教育センターにおける道徳研究の実践・全国各地での研修講師の経験を活かし、「道徳教育の理論を理解し、それを活用した指導案作成、模擬授業による授業構成の探究」等の学修を展開する。講義・演習を通して道徳教育がねらう「自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に、自立した人間として他者と共によりよく生きる人間形成」の在り方を修得する。また、この科目はその後に履修する教育実習の基盤となる科目である。

学修内容	到達目標
① 道徳教育の本質・目標を学び、道徳教育の重要性を理解したうえで、道徳の師範授業を受ける。 ② 学習指導要領解説道徳を理解したうえで、指導計画・授業設計・指導方法・評価を学び、それを生かした授業作りの基礎（指導案の書き方）を学ぶ。 ③ ②で学んだことを生かし、発達段階を踏まえた道徳科の授業を想定して指導案を作成し、模擬授業をする。	① 道徳教育の本質・目標、道徳教育の重要性を理解し説明できる。 ② 学習指導要領解説道徳を踏まえた授業作りの基礎を活用して、道徳の授業の指導案を立案することができる。 ③ ①②を活用し、発達段階を踏まえた模擬授業の探究を通して、よりよい授業に向けての課題を解決をすることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	教職を目指し、道徳の授業を進めるうえで必要なことについて、図書館などの文献を活用し、自己学修することができる。
	働きかけ力	
	実行力	教職に就くという目標や、出題された課題に向かって、くじけずやり切ることができる。
考え抜く力	課題発見力	
	計画力	教職を目指し、道徳の授業を進めるうえでの課題について、客観的に整理し、見極めることができる。
	創造力	教職を目指し、道徳の授業を進めるにあたり、よりよい授業展開の在り方を様々な立場から考え、指導案を作成することができる。
チームで働く力	発信力	教職を目指し、道徳の授業を進めるにあたり、子供に分かりやすく伝えるために必要な「留意点を的確な文章で伝えたり、発表したりすること」ができる。
	傾聴力	教職を目指すにあたり必要な「子供に最低限守らせるべきルール・マナー」について、理解するとともに、自らも厳守することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	教職を目指すにあたり必要な「子供に最低限守らせるべきルール・マナー」について、理解するとともに、自らも厳守することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：中学道徳 あすを生きる 3 日本文教出版
 テキスト：中学校学習指導要領(平成29年告示) 解説 特別の教科 道徳編（文部科学省）
 テキスト：道徳テキスト：道徳を図解する 電子書籍版 大学教育出版（第1週で紹介）
 オープンエデュケーション：「特別の教科 道徳」アーカイブ（文部科学省）<https://doutoku.mext.go.jp/>

他科目との関連、資格との関連

この科目はその後に履修する教育実習指導・教育実習の基盤となる科目である。
 ・資格との関連：栄養教諭1種免許

学修上の助言	受講生とのルール
・絶対に教職に就くという強い意志をもち続け、学修したことを学校現場で絶対に生かすという決意で、深い学びをしてほしい。	① 遅刻 2 回を欠席 1 回に換算する。 ② 授業開始から30分以降は欠席とする。 ③ 授業中に私語が著しい場合は退席、欠席扱いとする。 ④ 教員が許可する以外授業中の携帯使用禁止とする。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	40	①	✓			・道徳教育の本質、目標、道徳教育用語を理解できる。（第1～3週で扱った内容から、語句の穴埋めや用語の説明について、出題する。特に、道徳教育の目標は頭に入れてくること。小テストはGoogleクラスルーム formsで行う。40点満点（素点）
				②				
				③				
		レポート	25	①				・道徳のよりよい授業を考え、そのための指導案を提出できる。（A 4サイズ2枚まで、ねらいが達成できると考えられる指導案であること）25点A B C 3段階評価（25点・20点・15点）。ドキュメントでGoogleクラスルームに提出する。
				②	✓			
				③				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	25	①				・指導案を基に、模擬授業をすることができる。（表現の仕方・説明の分かりやすさ・独自性並びに教師の説話を重点的に評価する）25点A B C 3段階評価（25点・20点・15点）
				②				
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）ワークシートの内容に加え、文献を使って自己学修をすることができる。 （実行力）指導案作成に積極的に取り組むことができる。 （課題発見力）立案した指導案の課題を発見し、修正することができる。 （創造力）よりよい授業にするために、様々な面から指導案を検討することができる。 （発信力）模擬授業で分かりやすく発信することができる。 （傾聴力）発表に対して、自分の意見を返答することができる。 （規律性）自分自身に厳しくルールを課すことができる。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・道徳の目標等について、小テストで30点以上とれる。 ・ねらいが達成でき、楽しく学べる指導案を作成することができる。 ・ねらいが明確な分かりやすい模擬授業をすることができる。 （小テスト36点以上・他がすべてAを上回る内容であればSとする）	・道徳の目標について、小テストで24点以上とれる。 ・ねらいが達成できる指導案を作成することができる。 ・分かりやすい模擬授業をすることができる。 ※レベルBを満たしていない発表・指導案、又は提出遅れはレベルCと判断する。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション 授業概要・授業のルール・評価方法を理解する。 ・学習指導要領に示された道徳教育の本質、目標、主な内容や道徳教育用語を理解する。	・講義 ・PP：これまでに受けてきた道徳授業の調査を行う。 ・ワークシート（classroomドキュメント）：学級経営との関連について理解する。	・道徳教育の本質/目標/主な内容について、説明できるように、整理しワークシート（classroomドキュメント）に記述できる。	（予習）学泉ノートを読んで理解してくる。 （復習）ワークシート（classroomドキュメント）の内容を復習し、本週のポイントをまとめておく	180	主体性 実行力 創造力 規律性
2	・教育における道徳の位置づけ 知・徳・体の中で、何を優先すべきか考える。	・講義（classroomドキュメント） ・ワークシート	・知・徳・体の「徳」の中で、何を優先すべきかについて自分の考えを整理しワークシート（classroomドキュメント）に記述できる。	（予習）参考文献を見つけ教育とは何かを考えてくる。 （復習）ワークシート（classroomドキュメント）の内容を復習し、本週のポイントをまとめておく	180	主体性 実行力 創造力 規律性
3	・道徳性とは 道徳的な判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲と道徳的態度の意味について理解する。	・講義、ワークシート（classroomドキュメント） ・道徳的態度の意味を端的に表現した動画を視聴する（心得）	・道徳性とは何かについて整理しワークシート（classroomドキュメント）に記述できる。	（予習）学習指導要領を読んでくる。 （復習）小テストに向けてこれまでのワークシート（classroomドキュメント）の内容を復習しておく	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力
4	・道徳の授業創りの基礎Ⅰ 道徳の指導計画・指導方法を学ぶ。そのうえで、道徳の指導過程「方向付け－教材提示－基本発問－中心発問－把握の発問－道徳的価値の自覚－終末」の意味を理解する。	・小テスト（1～3週の内容 45分）小テストはGoogleクラスルームformsまたは、プリントで行う。 ・講義・ワークシート（classroomドキュメント） ・確認テストのフィードバック	・小テストで、24点以上とれる。 ・道徳の指導計画/指導方法/指導過程を整理しワークシート（classroomドキュメント）に記述できる。	（予習）小テストの想定問題を予想し、理解してくる （復習）ワークシート（classroomドキュメント）の内容を復習し本週のポイントをまとめておく	180	主体性 実行力 創造力 規律性
5	・道徳の授業創りの基礎Ⅱ（教員による師範授業） 道徳的価値の解釈の方法、道徳的諸価値（内容項目）、道徳の授業で扱う教材解釈の方法を知る。	・グループ討議：考えを分かりやすく相手に伝える（発信力）。 家族愛の捉えをグループ討議し、考えをレポート（classroomドキュメント）にまとめる。（傾聴力・課題発見力） ・講義：「窓ガラスと魚」の解釈をする。	レポート（classroomドキュメント）を作成し、期日までに提出できる。	（予習）家族愛とは何か自分の考えをまとめておく。オープンエデュケーション：「特別の教科 道徳」アーカイブ（文部科学省） https://doutoku.mext.go.jp/ を視聴してくる。 （復習）ワークシート（classroomドキュメント）の内容を復習し本週のポイントをまとめておく	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
6	・道徳の授業の難しさ（オンデマンド）：道徳の授業の難しさをまとめる。 ・道徳における評価の在り方・難しさ（アンケート結果配信）子供の評価方法について理解する。	・講義（オンデマンド）：実際の評価方法を理解する。 ・ワークシート（classroomドキュメント）：アンケート結果から見えてきた道徳の授業の難しさを各自ワークにまとめる。	・道徳の授業の難しさや評価の在り方について整理し、ワークシートに記述できる。	（予習）道徳科に求められる評価（文科省） https://www.youtube.com/watch?v=1Gw696-Zeq4 を視聴してくる。 （復習）ワークシート（classroomドキュメント）の内容を復習し本週のポイントをまとめておく。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
7	・授業分析の方法（教員による師範授業） 子供理解と授業分析の方法を知る。 ・授業記録を読む 子供の発言予想と実際の反応のズレを読み取る。	・講義 ・ワークシート（classroomドキュメント）（教材：ヒキガエルとロバ）	・子供理解と授業分析の方法を整理しワークシート（classroomドキュメント）に記述できる。 ・指導案を期日までに提出できる。	（予習）子どもを理解するとはどういうことかまとめておく （復習）ワークシート（classroomドキュメント）の内容を復習しておく	180	主体性 実行力 創造力 規律性
8	・小学校の授業（VTR）を観察 小学校の道徳の授業を観察または視聴する。	・観察実習 積極的に授業を観察する。子供の発言の意味を瞬時に聞き取る。（傾聴力）	・観察（視聴）記録を期日までに提出できる。	（予習）授業観察の視点をまとめておく （復習）観察または視聴記録を期日までにまとめる	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	・観察実習報告会 各自のレポート (classroomドキュメント)内容を基に報告する。 ・模擬授業の指導案の修正 観察を通して学んだことを基に指導案を修正する。	・報告と質疑応答 分かりやすく報告する。(発信力) ・報告をよく聞きとり、的確な質疑応答を行う(傾聴力)。	・報告することができる。	(予習)聞き手に分かりやすい報告に向けて準備しておく。 (復習)観察または視聴記録を期日までにまとめる	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	・道徳の授業作りの実際 1 指導案の書き方と発言 予想の方法を理解する。 ・模擬授業の指導案作成 1 持参した教材を基に、 模擬授業に向けた指導案 (略案)を作成する。	・講義、ワークシート (classroomドキュメント) 教材:風に立つライオン ・指導案を作成し(創造力)ドキュメントで提出する。	・指導案を作成することができる。	(予習)実施してみたい道徳の教材を図書館等で選ぶ。 (復習)ワークシート (classroomドキュメント)の内容を復習し 本週のポイントをまとめておく	180	主体性 実行力 創造力 規律性
11	・模擬授業の指導案作成 2 持参した教材を基に、 模擬授業に向けた指導案 (略案)を作成する。	・講義 ・指導案を作成する (classroomドキュメント)(創造力)	・指導案を作成し、期日までに提出できる。	(予習)指導案の修正をしてくる。 (復習)ワークシート (classroomドキュメント)の内容を復習し 本週のポイントをまとめておく	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
12	・模擬授業 I 情報機器・教材を活用し、子供の実態を踏まえた模擬授業を行い、その授業を振り返る。	・授業と質疑応答(教員・学生双方向で行う) 分かりやすく発表する。(発信力) ・授業をよく聞きとり、的確な質疑応答を行う(傾聴力)。	・模擬授業の振り返りを行うことができる。	(予習)聞き手に分かりやすい模擬授業に向けて準備をする (復習)模擬授業に使う教材を修正する	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	・模擬授業 2 情報機器・教材を活用し、子供の実態を踏まえた模擬授業を行い、その授業を振り返る。	・授業と質疑応答(教員・学生双方向で行う) 分かりやすく授業する。(発信力) ・授業をよく聞きとり、的確な質疑応答を行う(傾聴力)。	・模擬授業の振り返りを行うことができる。	(予習)聞き手に分かりやすい模擬授業に向けて準備をする(復習)模擬授業に使う教材を修正する)	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	・模擬授業 3 情報機器・教材を活用し、子供の実態を踏まえた模擬授業を行い、その授業を振り返る。	・授業と質疑応答(教員・学生双方向で行う) 分かりやすく授業する。(発信力) ・授業をよく聞きとり、的確な質疑応答を行う(傾聴力)。	・模擬授業の振り返りを行うことができる。	(予習)聞き手に分かりやすい模擬授業に向けて準備をする (復習)模擬授業実施後の反省をまとめておく。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	・学修のまとめ 学修のまとめとして、感想等をレポート (classroomドキュメント)「学修を終えて」にまとめる。	・オンデマンドのレポート(classroomドキュメント) 教職に就きたいという思いを表現する(実行力)。	・本時間内に最終レポート(classroomドキュメント)を提出できる。	(予習)14週の授業を振り返っておく (復習)これまでに学修してきたことを復習しておく。	180	主体性 実行力 創造力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力